

令和4年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	小城市立三日月小学校 児童数728人	担当者名	横尾みゆき 進藤彩 真子侑子
住所	郵便番号 845-0021 佐賀県小城市三日月町長神田 1680	電話番号	(0952) 73-2950

I.取組前の宣言内容

宣言	目標	読書！笑顔！三日月サイコー！ ～本で友達とつながろう～
	取組期間	令和4年4月11日 ～ 令和4年11月30日

II.取組後の評価

評価	取組人数	784人	実施日数	133日	読書冊数	70,365冊	連携した団体数	2団体
	取組内容（概要）	<p>1. 宣言目標「読書！笑顔！三日月サイコー！～本で友達とつながろう～」</p> <p>2. 継続している取組</p>						
	工夫したこと	<p>三日月小学校は合言葉を「元気！笑顔！三日月サイコー！」とし、大規模校の良さを生かしながら、ともに誇れる学校づくりに励んでいる。読書チャレンジでも、読書で笑顔の輪を広げ、本で友達とつながることで三日月サイコーを目指した。</p> <p>1. 宣言目標「読書！笑顔！三日月サイコー！～本で友達とつながろう～」</p> <p>(1) 図書委員と全校児童とのつながり</p> <p>本の貸し出しを手伝ってくれる図書委員は下級生の憧れである。そんな図書委員と児童とのつながりを深めることで、図書室をより身近な場所へとできるよう取組を行った。</p> <p>①図書委員の顔写真つきでおすすめの本を紹介した。さらに、詳しくおすすめポイントを書いたカードもそえて、本と一緒に展示した。多くの児童が、図書委員おすすめの本を手にとって笑顔が広がった。</p> <p>②③④⑤（6月、11月の図書館祭りにおいて）</p> <p>1年に2度開催する図書館祭りは、図書委員も全校児童も楽しみにしている大きな行事の一つだ。曜日担当ごとに分かれて自分たちの企画を考え、ひと月もの間こつこつと準備を進めていく。クイズやしおりコンテストは人気企画の一つである。正解したり入賞したりすると、プラス貸し出し券やくじびきができるのも魅力だ。今年度新たな企画だった読書おみくじは、学年で先着25名ということもあり図書室には長蛇の列ができた。くじには、図書委員がセレクトした本の番号が記してある。その本を借りると大吉、中吉、小吉によって豪華な景品がついてくるしくみとなっている。普段自分では選ばない本を手取るよい機会となった。このように、図書委員と全校児童がつながることで、図書室が本を借りるだけでなく、人とのつながりを感じられる魅力ある場所へと変わった。</p> <p>(2) 児童同士のつながり</p>						

	<p>今年度も新型コロナウイルス感染症対策のため、行事や活動を縮小せざるを得なかった。このようなときだからこそ、友達同士が読書を通じて心をつなげるような取組にチャレンジした。</p> <p>①「秋の読書運動会」を開催した。全校児童が運動会と同様の4つの団に分かれ、本の貸し出し冊数を競った。3週間の期間中、毎週得点版を更新したことで、自分の団の冊数を伸ばそうと意欲的に図書室へ足を運ぶ児童が増えた。</p> <p>②③④（6月、11月の図書館祭りにおいて）</p> <p>「貼り絵にチャレンジ」は昨年度も大人気の企画で、今年度も図書館祭りの期間中に行った。図書室のキャラクター募集と、ぼくの私のおすすめの本は新しい取組となった。</p> <p>図書室のキャラクターを全校児童に募集したところ、全校で236枚の応募があった。その中から図書委員が、三日月小学校の図書室にぴったりのキャラクターを選んだ。親しみやすいブックンは、さらに子どもたちのつながりを深めてくれるにちがいない。ぼくの私のおすすめの本では、“わくわくする本”“こわい本”“笑える本”などのテーマごとに、全校児童のおすすめの本を募集した。自分とはちがう、友達にとってのおすすめの本を知ること、様々な感じ方や友達の新たな一面を発見できた児童もいた。</p> <p>⑤4年生国語科の「たしかめながら話を聞こう」の学習とリンクさせ、2年生におすすめする本の紹介を行った。4年生は、2年生でも楽しめる内容か、また、難しい言葉や漢字はないかなど吟味して本を選んだ。2年生は4年生の想いを受け取り、たくさんのお本とふれ合っていた。</p> <p>⑥4年生国語科の「くらしの中の和と洋」の学習とリンクさせ、図書室に子どもたちが手作りの“くらしの中の和と洋コーナー”を作った。自分たちが作った和と洋ブックとともに調べ学習で使った本も合わせて、他学年の児童にたくさん手に取ってもらうことができた。</p> <p>2. 継続している取組</p> <p>①「1人100冊運動」</p> <p>②4月恒例の新しく三日月小学校に赴任した先生のおすすめの本掲載。</p> <p>③自動車図書館「本丸くん」（小城市民図書館三日月館）による貸出（月1回）</p> <p>④「ムーンブック」地域の方々の読み聞かせボランティアによる朝の読み聞かせ</p> <p>⑤運動会、防災週間、敬老の日などのイベント週間に合わせた本の展示。</p> <p>⑥夏休みの読書記録。今年度は、小城市民図書館より配布の「家読ノート」を活用した。</p>
<p>取り組んだ感想</p>	<p>図書委員の仕事は多岐にわたり、休み時間の活動も多い。始めは図書室に足が向かない委員もいたが、次第に大きく成長した姿を見せてくれた。これは、本を通して“友達とつながる”楽しさを実感できたからなのだと思う。図書室で本を通してたくさんのお本とつながりができ、笑顔の輪が広がった。子どもたちにとって、図書室はまさしく“三日月サイコー”な場所となった。</p>
<p>これまでの取組や今後の取組予定</p>	<p>今年度は貸し出し冊数こそ増加しなかったものの、「スクール読書チャレンジ運動」に毎年取り組むことで、確実に子どもたちの意識は変わってきていることを実感した。今後も、人と人とのつながりを大切にした読書活動を推進していきたい。</p>

取組内容

1.宣言目標「読書！笑顔！三日月サイコー！～本で友達とつながろう～」

(1) 図書委員と全校児童とのつながり

①図書委員おすすめの本

図書委員のおすすめの本を、顔写真つきで掲示した。毎日、本の返却や貸し出しをしてくれる図書委員は下級生のあこがれ。そんな図書委員がおすすめしてくれる本は、下級生にとっても魅力的で、手に取る児童も多かった。



ここがおすすめ！



②ぬり絵コンテスト

図書室にある本の中から好きなキャラクターを描いた作品を募集したところ、全校からたくさんの応募があった。優秀作品を児童玄関に掲示したところ、「この本私も好き」「やっぱり6年生は絵が上手だな」などの反響があった。

③読み聞かせ

図書館祭り中の読み聞かせでは、対面にならないよう配慮し、動画を作成した。読み聞かせ担当グループは対象の学年に合わせて本を選び、登場人物の気持ちが伝わるように読み聞かせをした。子どもたちが大喜びで、繰り返し動画を見た学年もあった。何度でも見る点ができる点は動画の良さだった。



④読書おみくじ

おみくじには、図書委員セレクトの本の番号が記されており、本を借りると三冊貸し出し券などのプレゼントがついてくる。あなたの運勢やいかに!!



大吉が
出ますように!



⑤しおりコンクール

全校児童に、オリジナルのしおりを募集した。図書委員が審査を行い、図書室に掲示した。



(2) 児童同士のつながり



①秋の読書運動会

運動会という大きな行事で一つになった赤・黄・白・青の各団。今回は、読書運動会にチャレンジ。優勝を目指し、各団で本の貸し出し冊数を競った。本を借りに来るたびに、得点版を見ては、「赤組が1番だよ!」と嬉しそうにする子どもたちの笑顔で、図書室も大いに活気づいた。

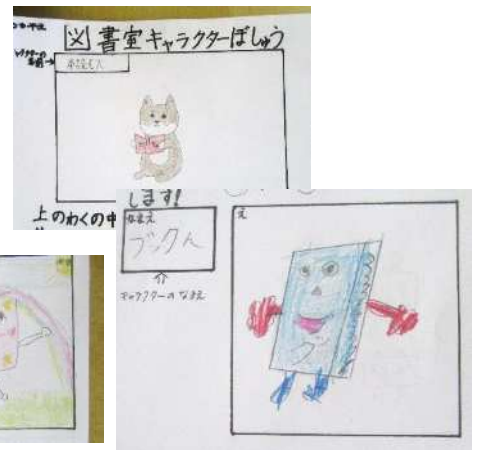
②貼り絵にチャレンジ

各クラスに大きな貼り絵の用紙を掲示。各クラスの児童が借りた本の冊数の色紙を持ち寄って貼り、クラスみんなで協力して、絵の完成を目指した。



③図書室のキャラクター募集

図書室のキャラクターを全校児童に募集したところ、多数の応募があった。“ブックン”や“えほんちゃん”“本読む犬”など、親しみやすいオリジナルキャラクターがたくさん誕生した。選ばれたキャラクターは児童玄関前に掲示し、全校児童にお披露目をした。



④ぼくの私のおすすめの本

“わくわくする本”“こわい本”“笑える本”などのテーマごとに、全校児童のおすすめの本を募集した。「今日は笑える本を読みたい気分」というときは、このコーナーを見ればたくさんの笑える本に出会える。



⑤下級生へ向けたおすすめの本

国語科の学習とリンクさせ、4年生が2年生におすすめの本を紹介した。紹介された本を見て、「その本読んだことあるよ!」「あの本おもしろそう」など、子どもたちは目を輝かせていた。



⑥自分たちで手作りコーナー

4年生が、自分たちで作った「日本の良さを再発見！暮らしの中の和と洋ブック」を図書室に展示した。調べ学習で使った本も一緒に並べて、手作りの“暮らしの中の和と洋コーナー”を完成させた。

2. 継続している取組



①一人100冊運動

100冊以上の本を借りると、貸し出しカードがゴールドへと変わる。ゴールドカードに切り替わることを子どもたちは心待ちにしている。目標を達成すると、一人一人に賞状とプラス貸し出し券もプレゼントされる。

②先生のおすすめの本

4月に新しく来た先生のおすすめの本を児童玄関前に掲示した。「先生のおすすめの本さっそく借りてみたよ」などの会話がはずむ。

③本丸くんの日

1ヶ月ごとに巡回してくる自動車図書館“本丸くん”の日は、子どもたちが心待ちにしている。



④「ムーンブック」による朝の読み聞かせ

地域の方々の読み聞かせボランティアによる朝の読み聞かせを行っている。



⑤イベント週間に合わせた本の展示



⑥家読ノートで親子読書



小城市立図書館から配布される家読ノートの活用。